

高台まちづくりの推進

①高台の整備

- ・都市基盤施設の整備に合わせた高台化
千里丘駅周辺等で浸水しない安全な避難場所の整備確保

②公共施設の建替・再編に伴う高台化

- ・学校規模及び配置の適正化を契機とした高台整備

③民間施設を活用した高台の確保

- ・民間企業との協定締結による高台避難場所の確保

④高台拠点をも面的に繋げたまちづくりの検討

- ・各高台拠点を道路・通路等で線的・面的に繋げ、災害時に浸水しないエリアへの避難を確保

避難計画（体制）づくり

①広域避難に向けた意識づくり

- ・水害リスクの説明
我が家、地域の想定浸水深、浸水継続時間を知る「逃げる」意識の醸成
- ・避難における地域での助け合い（共助）の意識醸成
市域内外の浸水の恐れのない地域への避難
自動車や公共交通を利用した避難を想定

②「安全な場所への避難」に向けての仕組みづくり

- ・災害時要支援護者の避難場所確保
充実したケアが可能な拠点を安威川の南北に確保
- ・広域避難場所の確保

③逃げ遅れた場合の命を守る行動

- ・緊急避難場所の設備の充実、拡充
身近な緊急避難場所の整備、備蓄品の拡充
- ・民間事業所等との協定による新たな避難場所の確保
- ・身近な背の高い建物への避難

④浸水地域内の残留者を救助

- ・浸水により孤立化した緊急避難場所等からの救助
ボート、ヘリの確保に向けた協定等の取組
- ・排水能力の向上
浸水継続時間の短縮をめざした下水整備等

河川防災ステーションの整備

- ・淀川堤防の災害復旧活動拠点の整備
災害時要支援護者（高齢者・障害者等）への対応を中心とする新たな価値を創造できる施設の整備
- ・避難者の想定
安威川以南居住の要配慮者（施設入所せず在宅の方）
- ・パーソナルスペース（仮定値5.3㎡/人）

〈考慮事項〉

- ・上記以外の災害時要支援護者
⇒高齢者のみ世帯、乳幼児を抱えた一人親世帯 など